

## WFPに50万円寄贈

横浜市電設協会

ウクライナ支援に役立てて

横浜市電設協会（菊地憲幸理事長）は、ロシアの侵攻で国土に大きな被害が出ているウクライナの緊急支援に役立ててもらおうと、50万円を国連世界食糧計画（WFP）協会に寄贈した。菊地理事長が18日、横浜市西区のWFP協会事務所を訪れ、鈴木邦夫理事事務局長に支援金を手渡した。鈴木事務局長からは菊地理事長に感謝状が贈られた。

今回の寄贈は横浜市電設協会のチャリティー募金の一環。WFP協会には、これまで5回（計250万円）を寄贈しているが、ウクライナ情勢が深刻化していることから、同国への緊急支援として集まった募金を寄贈した。



感謝状を手にする菊地理事長（右）と、のし袋を手にする鈴木事務局長

菊地理事長は「微力ではあるが、WFPの活動や世界の飢餓の状況を会員各社に伝え、募金活動を続けていきたい」とあいさつ。鈴木事務局長は「WFPの予算は各国や企業、個人からの任意の拠出金で成り立っている。（募金が集まるように）皆さまにWFPの内情や、世界の飢餓の状況を少しでも広く知っていただきたい」と謝辞を述べた。